

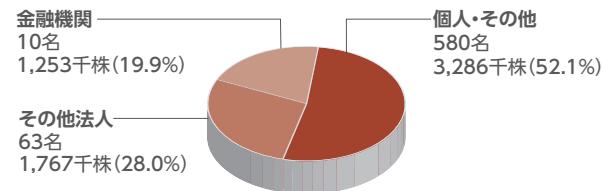
■ 株式の状況

発行可能株式の総数	20,024,000株
発行済株式の総数	6,306,000株
株主の総数	653名

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。

■ 普通株式所有者別状況



〈ご 注 意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

より詳細な情報は弊社WEBサイトをご覧ください。

ヤマウ

検索

<http://www.yamau.co.jp/>

ヤマウより株主の皆様へ

第60期 事業報告書

YAMAU REPORT 2017

2016年4月1日▶2017年3月31日



明日の快適環境を創造するために。





株主の皆様には格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

平成29年6月29日より、代表取締役社長に就任いたしました小嶺啓藏（こみねけいざう）でございます。中村前社長から経営の舵取りをしっかりと引き継ぎ、さらに株主の皆様のご期待にお応えするよう、全力を尽くして参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長
小嶺 啓藏

ヤマウフィロソフィー

目的・存在理由

わが社は、事業活動を通じて社会に貢献することを使命とし、顧客の満足度を高め、会社の発展と社員の幸福を実現する



恒久の信念

- 顧客あってのわが社である。顧客第一に徹しよう
- 顧客のニーズに応える、すぐれた商品を提供しよう
- 感謝の心をもとに、つねに謙虚、誠実であり続けよう

基本指針

- 公開企業としての誇りと責任を持つ
- 仕事を愛し、スピード・効率・品質を追求しよう
- 力をあわせて働き甲斐のある会社になろう
- 明るく風通しのよい会社になろう
- 変化をおそれず、未来志向でチャレンジしよう

Q 当期の市場環境、決算のポイント等について教えてください。

A 収益性の高い自社製品の売上が伸び、利益体質の強化を図ることができました。

主要市場である九州圏内では、熊本地震被災企業の操業再開等による立ち直りや公共投資の発注増が進み、緩やかな回復傾向を示しております。このような状況の中で当社グループは、収益力の向上に向けた技術・提案力の強化に取り組んで参りました。

この結果、当期の連結売上高は 216 億 77 百万円（前期比 7.8% 増）となりました。利益面につきましては、第 4 四半期以降、収益の主力である自社製品の売上が堅調に推移したことにより、営業利益は 4 億 96 百万円（同 13.1% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益は 3 億 77 百万円（同 37.3% 増）と二桁の増益を達成いたしました。

なお重要課題であった優先株式について、平成 29 年 3 月 15 日開催の臨時株主総会並びに取締役会の決議に基づき、取得及び消却を行いましたことをご報告いたします。

Q インドネシアでの事業活動がいよいよスタートしますね。

A インドネシアのインフラ整備の促進や衛生問題の改善への貢献を果たして参ります。

この度、JICA の「中小企業海外展開支援事業（案件化調査）」で当社企画案が採択されました。これを受け本年 2 月、インドネシアでインフラ整備促進のためのコンクリート二次製品の普及に相互協力することを、現地法人 PT WIJAYA KARYA BETON, Tbk 社と基本合意いたしました。

同国の南スラウェシ州マカッサル市周辺では、雨水排水施設の能力不足により雨期に浸水が頻発しております。両社は相互協力して JICA の案件化調査及び普及・実証事業を通じ、現地インフラ整備の促進、地域住民の衛生問題・生活環境を改善すべく、コンクリート二次製品の普及を進めるものであります。今後は、浸水被害の軽減及び安定した強度が確保できる当社のプレキャストコンクリート製品など、両社の経営資源を活用し、多方面からの検討を行っていく計画です。

Q 次期（平成 30 年 3 月期）の見通しについてはいかがですか？

A コア事業の一層の強化を着実な利益確保に繋げて参ります。

主要市場である九州圏内では公共事業の予算配分が、当社収益の主力である自社製品の売上が見込まれる「インフラ新設工事」から「既存設備の長寿命化・老朽化対策」へ推移していることから、厳しい環境が続くものと予想されます。このような経営環境下において当社グループは、受注力・コスト競争力の追求等によるコア事業の強化を図るとともに、周辺事業の成長加速等に取り組む、利益確保に邁進する所存であります。

これら諸施策により連結業績につきましては、売上高 220 億円（当期比 1.5% 増）、営業利益 5 億 10 百万円（同 2.8% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益 3 億 80 百万円（同 0.7% 増）を見込んでおります。

Q 配当状況など株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 期初予想から 1 円増の 1 株当たり 6 円の年間配当とさせていただきます。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、安定配当の継続、また財務体質の強化と今後の事業展開のための内部留保を確保することを基本方針としております。

また当社では、平成 29 年 3 月 15 日開催の臨時株主総会の決議に基づき、当社優先株式を取得（160 万株）するとともに、優先株主による取得請求権の行使に伴い自己株式として取得した 40 万株を含む全ての優先株式（200 万株）を消却いたしました。これによる優先株式を含む発行済株式数の減少に対し、配当金総額を期初予想（1 株当たり 5 円）と同額規模にするという観点から、年間配当金を 1 株当たり 6 円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援の程、何卒よろしくようお願い申し上げます。

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産／純資産



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成29年3月31日現在	前連結会計年度 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,821	11,739
固定資産	5,668	5,768
有形固定資産	3,745	3,920
無形固定資産	264	345
投資その他の資産	1,659	1,502
資産合計	18,490	17,507
負債の部		
流動負債	10,991	10,687
固定負債	3,724	2,731
負債合計	14,715	13,419
純資産の部		
株主資本	3,465	3,888
資本金	800	800
資本剰余金	313	313
利益剰余金	2,364	2,788
自己株式	△13	△13
その他の包括利益累計額	240	142
その他有価証券評価差額金	135	66
退職給付に係る調整累計額	105	76
非支配株主持分	68	57
純資産合計	3,774	4,088
負債純資産合計	18,490	17,507

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	21,677	20,110
売上原価	16,646	15,380
売上総利益	5,031	4,730
販売費及び一般管理費	4,535	4,291
営業利益	496	438
営業外収益	233	322
営業外費用	152	193
経常利益	576	567
特別利益	1	9
特別損失	18	43
税金等調整前当期純利益	559	533
法人税、住民税及び事業税	211	202
法人税等調整額	△39	43
当期純利益	387	287
非支配株主に帰属する当期純利益	10	13
親会社株主に帰属する当期純利益	377	274

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	803	814
投資活動による キャッシュ・フロー	△296	△1,318
財務活動による キャッシュ・フロー	42	916
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	549	411
現金及び現金同等物の 期首残高	2,219	1,807
現金及び現金同等物の 期末残高	2,768	2,219

コンクリート製品製造・販売事業



売上高 **156億63**百万円
(前年同期比4.8%増)
営業利益 **3億5**百万円
(前年同期比8.4%減)

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、主要市場である九州圏内において、長寿命・老朽化対策等へ予算配分が推移していく中、主力の土木製品群を中心に受注強化に継続的に取り組んで参りました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は、156億63百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億5百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業



売上高 **36億4**百万円
(前年同期比10.3%増)
営業利益 **1億39**百万円
(前年同期比123.2%増)

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。

当連結会計年度においては、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上高は、36億4百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億39百万円（前年同期比123.2%増）となりました。



ローラーゲート、KaNaF（カナフ）ゲート

コンクリート製品のご紹介

■ 土木製品

土木部門では、環境問題への関心の高まりや熟練工不足による省人化問題の解決に向け、「現場打ちのプレキャスト製品化」を提案し施工現場の作業改善や工期短縮に貢献しています。



ポラボックス

■ 建築関連製品

後付エレベーター昇降路「Fine uni（ファインユニ）」は、既存建物の物理的バリアを解消し、入居者の高齢化が進む共同住宅や、車椅子対応を進める教育施設・歩道橋等への今後の需要が見込まれています。



ファインユニ（後付エレベーター昇降路）

■ 景観製品

多彩な表情を持つヤマウの景観製品は自然環境に広がりとお興行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。

■ レジンコンクリート製品

耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などに優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な製品です。

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業



売上高 **16億44**百万円
(前年同期比47.6%増)
営業利益 **16**百万円

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業の売上は、地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計業務によるものであります。

当連結会計年度においては、地質調査・コンサルタント業務及び土木工事業の売上高は16億44百万円（前年同期比47.6%増）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（前連結会計年度はセグメント損失25百万円）となりました。

なお、本事業に属する大栄開発株式会社は、みなし取得日が平成27年5月31日であるため、前連結会計年度は平成27年6月1日から平成28年3月31日までの10ヶ月となっております。



法面保護工事

コンクリート構造物の点検・調査事業



売上高 **4億68**百万円
(前年同期比6.4%増)
営業利益 **28**百万円
(前年同期比43.6%減)

コンクリート構造物の点検・調査事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修・補強設計業務の請負によるものであります。

当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査事業の売上高は4億68百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益（営業利益）は28百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業



売上高 **3億46**百万円
(前年同期比1.2%減)
営業利益 **4**百万円
(前年同期比70.1%減)

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守、LED照明の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上高は3億46百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同期比70.1%減）となりました。

より安心でより快適な生活環境づくりに貢献するヤマウの製品

擁壁類



バンウォール

道路類



プレガードⅡ

建築関連



ファインユニ (後付エレベーター昇降路)

貯留浸透類



アクアポンドS型 (プレキャスト雨水貯水槽)



カルバート類



2連FAボックス

河川港湾類



CV護

災害復旧



CVハーフ

レジンコンクリート製品



カーストップ・係船柱

自転車走行配慮・縁石分離型函渠側溝 「Bライン側溝」

自転車が車道を走行する際の安全性に配慮した、縁石一体型側溝です。縁石分離が容易にできるため、民地側の利用形態による製品仕様の変更に対し柔軟に対応できます。

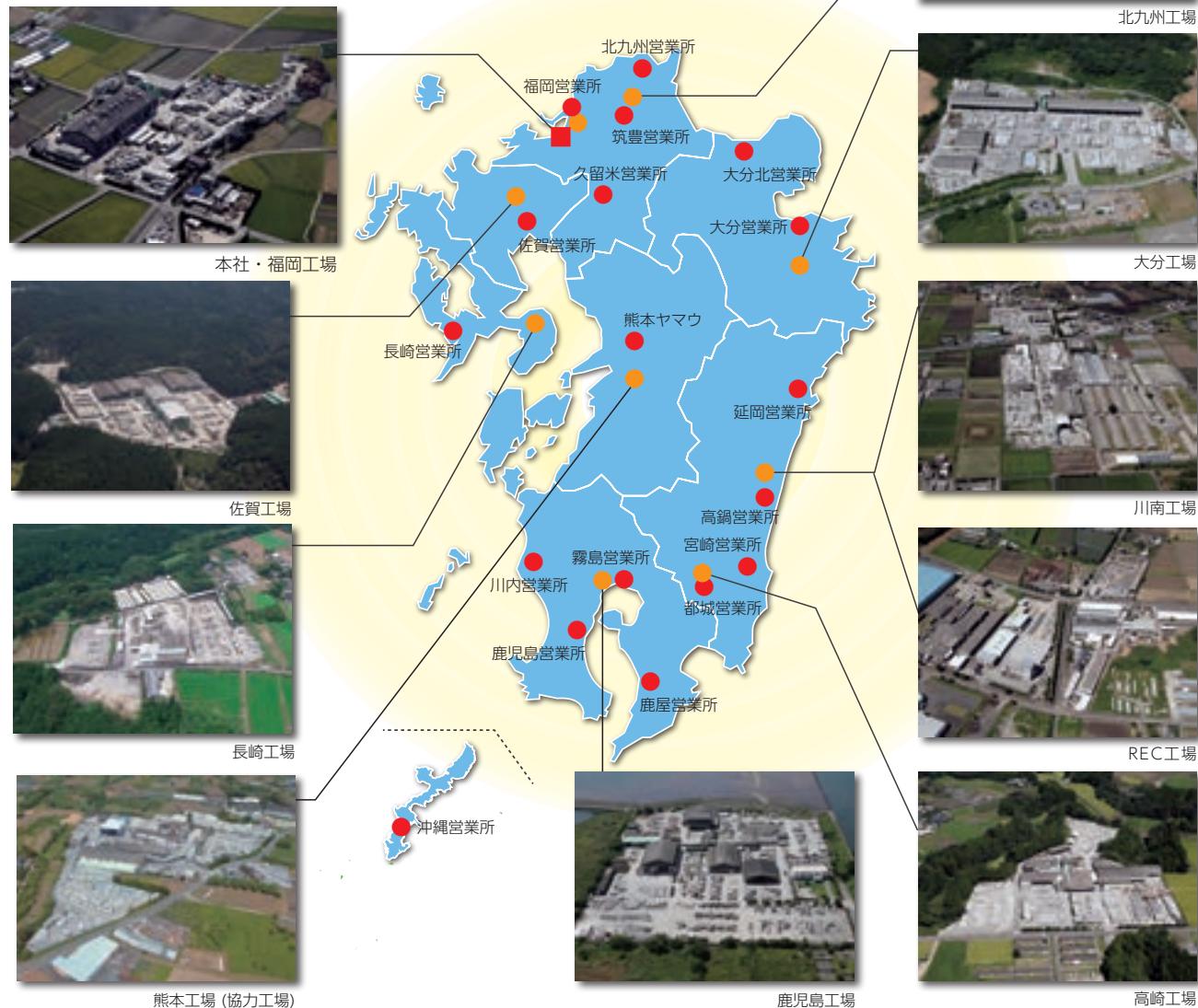


道路側に露出する側溝コンクリート面を側溝端面から10cm確保することで、自転車タイヤが側溝に乗ることを防ぎ安全に走行できます。

道路側の側溝縦方向に、雨水の集水力を高めるための連続スリットを設けることで、水溜りの発生が抑えられ自転車が安全に走行できます。



- 本 社 福岡
- 営業所 福岡、久留米、北九州、筑豊、佐賀、長崎、大分、大分北宮崎、延岡、高鍋、都城、鹿児島、鹿屋、川内、霧島、沖縄
関東事業部、REC事業部、熊本ヤマウ(旧熊本営業所)
- 工 場 福岡、北九州、佐賀、大分、川南、REC、高崎、鹿児島、長崎



■ 会社概要

商 号	株式会社ヤマウ
本 社	福岡市早良区東入部五丁目15番7号
創 業	昭和28年10月
設 立	昭和33年2月
資 本 金	8億円
代 表 者	代表取締役社長 小嶺 啓藏
従 業 員	218名 (平成29年3月31日現在)

■ 会社役員

代表取締役会長	権 藤 勇 夫
代表取締役社長	小 嶺 啓 藏
専務取締役	伊 佐 寿 起
専務取締役	徳 安 正 範
常務取締役	中 村 和 義
取締役相談役	中 村 健 一 郎
取 締 役	迫 田 孝 也
取 締 役	野 涯 卓 也
社 外 取 締 役	吉 岡 東 博
常 勤 監 査 役	隈 江 芳 博
社 外 監 査 役	長 野 紘 一 博
社 外 監 査 役	右 田 國 博

■ 子会社一覧

(株) ヤマウトラスト	製造業務請負事業
(有) ヤマウ・アサヒ	鉄筋加工事業
クリエイティブ・モールド(株)	コンクリート製品用型枠の製造・販売並びに改造・修理
九 科 販 売 (株)	コンクリート製品仕入販売事業
大 分 フ ジ (株)	コンクリート製品製造・販売
宮 崎 プ レ コ ン (株)	コンクリート製品製造・販売
(株) 熊 本 ヤ マ ウ	コンクリート製品製造・販売
開 成 工 業 (株)	水門・堰の製造、施工及び保守
大 栄 開 発 (株)	地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計
メ ッ ク (株)	コンクリート構造物の点検・調査業務、補修・補強設計業務、補修工事業務、補修・補強材料販売業務
(株) リ ペ ア エ ン ジ	一般土木工事並びにコンクリート構造物等の補修・補強工事
光洋システム機器(株)	情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売